

# RAYMONDA STORY

## 第1幕

舞台は中世フランス。

ドリス伯爵夫人の姪ライモンダは、誕生祝いの席で  
婚約者ジャン・ド・ブリエンヌからスカーフを贈られました。  
スカーフを手に、ライモンダは十字軍の遠征に出発するジャン・ド・ブリエンヌを見送ります。  
その夜、ライモンダが彼の無事を祈りながらリュートを弾いていると、  
ドリス邸の危機に現れるという「白の貴婦人」がジャン・ド・ブリエンヌの幻を見せます。  
ライモンダがジャン・ド・ブリエンヌの幻と踊っていると、  
見知らぬ男がライモンダに求愛し、ライモンダが飛び起きるとすべては夢だったのでした。



## 第2幕

ジャン・ド・ブリエンヌが帰還する日、ライモンダの美貌を聞きつけて、  
サラセン王国の王子アブドラマンがたくさんの贈り物を持って  
ライモンダのもとにやってきました。  
なんと、彼こそはあの日の夢に現れた男だったのでした。  
アブドラマンはライモンダに熱烈に求愛します。  
あまりにも熱烈な求愛にライモンダは動揺してしまいます。

そこへジャン・ド・ブリエンヌが遠征から帰還し、ライモンダをめぐるアブドラマンと決闘をすることに。  
アブドラマンに勝利したジャン・ド・ブリエンヌとライモンダは、  
ハンガリー王アンドレ二世と叔母の前で永遠の愛を誓いました。

## 第3幕

ジャン・ド・ブリエンヌとライモンダの結婚式。  
ハンガリー王やドリス伯爵夫人、  
多くの友人たちに囲まれて、盛大な結婚式が行われたのでした。



ライモンダはM・プティバ振り付け、A・グラスノフ作曲で1898年に Санкт-Петербурクのマリンスキー劇場で初演された作品です。全3幕で構成されており、多くの改訂版があります。  
今回は1984年ポリショイバレエ団で初演されたグリゴロヴィチ版を元に演出しており、物語が展開していく2、3幕を抜粋して上演します。  
フランス、サラセン（スラブ人やイスラム教徒）、ハンガリーと様々な民族舞踊が見られるシーンです。  
多くのクラシック舞踏とキャラクターダンスの絶妙な融合が見どころとなっていますので、お楽しみ頂けますと幸いです。